


分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	当初予算額 (基金充当額)	260千円 (130千円)
				予算額 (変更基金充当予定額)	340千円 (210千円)
目的	中学校技術科の授業を、高度な専門性を有した専門人材に遠隔地から実施していただくことにより、都市部から離れた本市に居住している生徒たちに、都市部と遜色ない教育環境を作ることを目的とする。				
事業概要・主な経費	<p>○事業概要</p> <p>本市では、「丹後学」の実施により、探究的な学びを通して郷土への愛着と誇り、地域固有の価値について考えさせる学習を行っており、これまでの成果を基盤にICTの活用を進めていく。</p> <p>市内には高等教育機関が存在しないこともあり、高校卒業後は9割が転出し、回復率は3割にも満たない状況にある。本市全体の人口はもとより児童生徒数も年々減少する中、現在、新たな教育や人材育成を地域とともに一体的に構築していくための在り方について検討を行っている。</p> <p>そのような中、遠隔教育を実施することで、本市が抱える地理的環境などの様々なハンディキャップを乗り越え、より充実した学びを児童生徒に届ける。</p> <p>実施教科の技術（計測・制御のプログラミング）において、解決できる問題を見つけ、その問題を解決するための情報収集を行ったり、具体的システムのプログラムを制作することで、これからの時代に必要な探究的な学びを身に付ける。</p> <p>○主な経費</p> <p>講師報酬（1名）260千円 講師費用弁償（1名）80千円 （より効果的な授業を実施するための対面授業に係る交通費等）</p>			<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 企業の技術者等 (特別免許状取得) </div> <div style="text-align: center;">  <p>遠隔授業</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 中学校の教員 (技術科の免許を保有していない。) </div> </div> <p style="text-align: center;">本市には、技術科の教科免許を有した教員がいない学校がある。</p>	
	事業スケジュール	<p>令和6年4月～令和7年3月：遠隔授業実施</p> <p>※技術科「計測・制御のプログラミングによる問題解決」（13時間）</p> <p>うち、令和7年2月頃に対面授業実施（2時間）</p>			